

# 家庭エコ診断推進基盤整備事業 の背景・必要性等と全体構成

# 1. 家庭エコ診断推進基盤整備事業の背景等

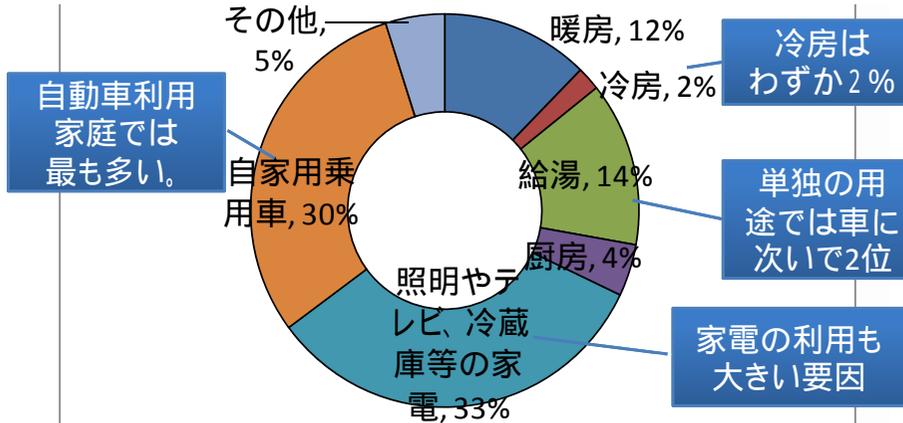
家庭からの温室効果ガス排出量は大幅な削減が必要です。

家庭部門のCO2排出量の推移



家庭の排出量の大きい用途を中心に効果的に削減する必要があります。

2008年世帯当たりCO2用途別排出割合(用途別)



出典) 国立環境研究所のデータをもとに作成

## 3. 11以降の家庭における節電

震災後の一般家庭の電力消費量は前年比8%減

前年比15%以上の節電を達成した世帯は約3割

震災後、暖房の仕方を変更した世帯は8割

多く取り組まれた節電行動は「照明をこまめに消す」、「使わない家電のプラグをコンセントから抜く」、「テレビの視聴時間を短くする」

住環境計画研究所資料より抜粋

→節電意識の高まり、さらなる取組の必要性

## 2. 家庭エコ診断推進基盤整備事業の背景等

### 事業の背景と必要性

- 家庭部門の温室効果ガス排出量は、2008年、90年比で3割以上増加しており、抜本的な対策が必要である。
- 平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」において、「環境コンシェルジュ制度」の創設が位置付けられており、家庭が実際の行動に移すため、各家庭のエネルギー利用状況等を診断した上で、中立性、信頼性を確保したきめ細やかなアドバイスの実施が求められている。
- 地球温暖化対策に係る中長期目標の達成のためには、このような取組を速やかに普及させることが必要であり、そのため、公平かつ正確なアドバイスの確保のための診断ツールを開発するとともに、これらの診断事業が地方公共団体や民間企業等において適切に実施できるようにすることが急務である。
- そのため、気候や居住形態、また実施者の事業形態に応じて、家庭のCO2排出実態を把握しつつ、診断の効果や信頼性のある診断手法等を検証し、マニュアル策定や資格制度の検討を行うことが求められている。

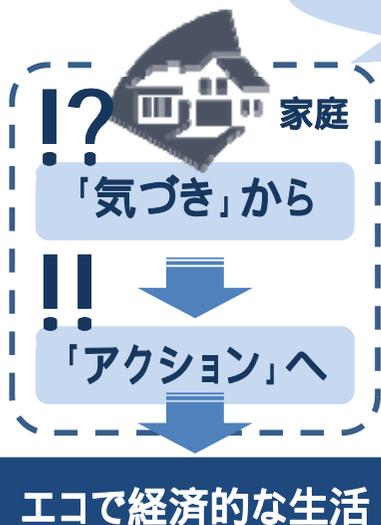
### 事業の実施年度

- 平成23～25年度

# 3. 家庭エコ診断推進基盤整備事業のスキーム

- ・地球温暖化対策に係る中長期目標の達成に向け、1990年比で3割以上増加している家庭部門の温室効果ガス排出量を抜本的に削減
- ・「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」において位置付けられた「環境コンシェルジュ制度」の基盤整備

温暖化に対して何か取り組みたいけど、  
我が家にとっての効果的な取組が知りたい！



## 家庭のCO2排出情報の提供

- ・アンケートによる事前調査 等

## CO2排出量の「見える化」、具体的かつ総合的な行動のアドバイス

- ・どこが悪いのか？みんなと比べると？何ができる？
- ・国や自治体の支援メニューのワンストップでの紹介



地域・民間主体  
による  
家庭エコ診断

### 家庭の使用状況から

- ・個々の家庭の削減ポテンシャルの推計
- ・より低炭素な使い方の情報提供を、円滑に行うための診断ツール等の開発

### 診断ツールを用いた家庭エコ診断の効果の検証を

- ・実施主体
- ・気候
- ・居住形態等の特性を考慮して試行的に実施

### 家庭のリアルタイムデータを解析し

- ・診断ツールの改善点の整理
- ・効果的な診断手法の検討
- ・マニュアルの策定
- ・資格制度化に向けた検討等を実施

国による、中立性、信頼性を確保したきめ細やかな診断を促進するための基盤整備

# 4. 平成22年度温室効果ガス「見える化」推進戦略会議と分科会の概要

- 戦略会議 : 「見える化」のあり方の検討、分科会の検討成果の取りまとめ  
分科会 : 「見える化」に関する各テーマについて調査・検討

## 温室効果ガス「見える化」推進戦略会議

温室効果ガス「見える化」の目的を改めて整理し、「見える化」に関する各種取組の現状や今後のあり方を検討する。また、各分科会での検討結果等を踏まえ、家庭部門あるいは業務部門における最適な「見える化」手法の検証を行い、今後の取組を推進する。

### 日常生活からの温室効果ガスの「見える化」に関する分科会

家庭部門における「見える化」の効果や家電機器の省エネ性能等を検証した。また、有効な「見える化」のための手法(表示方法・提供情報の種類)や人によるコンサルティングのあり方等を検討した。

首都圏約800世帯に「見える化」機器を設置する実証実験を実施

### 事業者の提供する商品・サービスに係る温室効果ガスの「見える化」に関する分科会

事業者が提供している、あるいはアイデアを構想している「見える化」の商品やサービスに関して、データの測定方法から分析までを評価・検証し成果を発表するとともに、普及促進方策等を検討した。

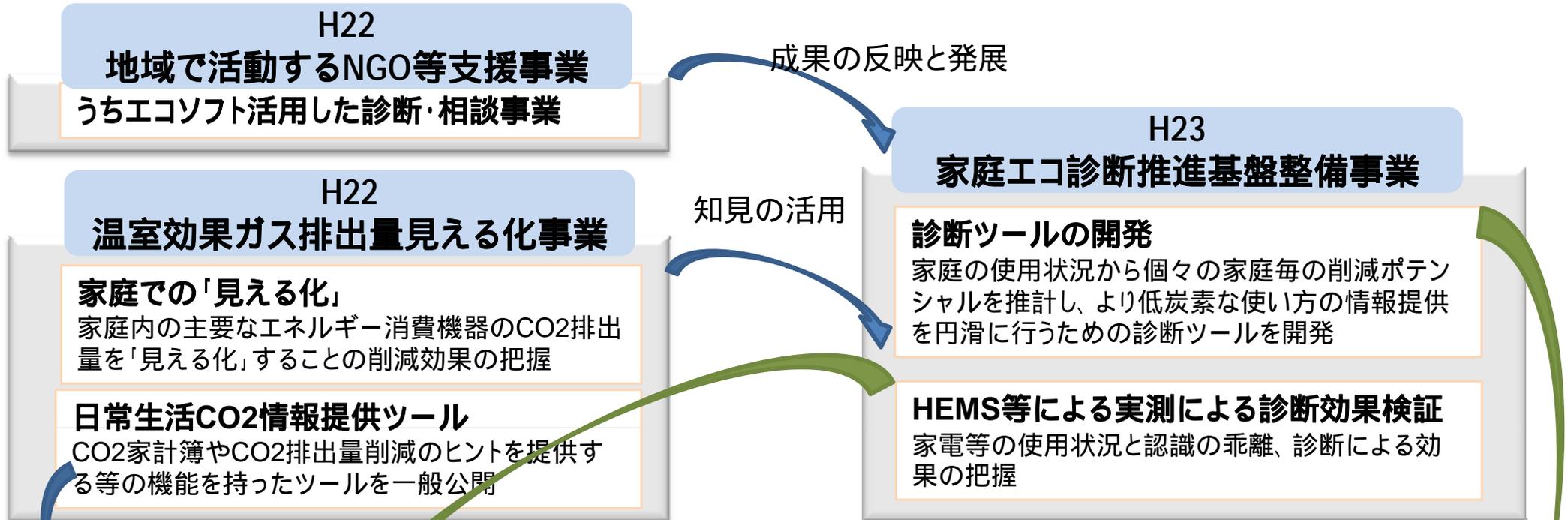
「見える化」商品・サービスを有する事業者を公募し、採択した7事業者による実証を実施

### 家庭部門CO2排出構造把握に係る検討分科会

家庭部門における効果的なCO2削減対策の立案に資するため、家庭部門におけるCO2排出量に係る統計・データベースを構築するに当たり、統計・データベースが有すべき内容を整理するとともに、その素案を提示した。

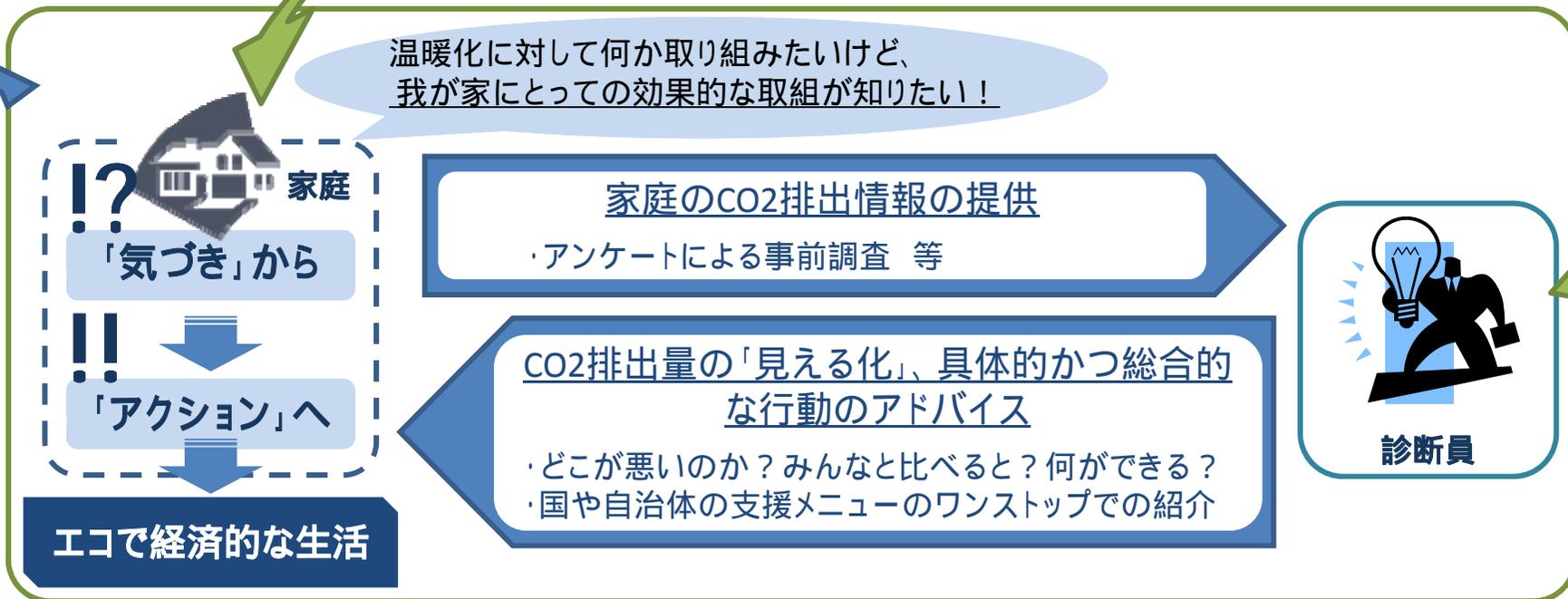
広義の「見える化」と位置付け、戦略会議において情報共有

# 5. 平成22年度関連事業と家庭エコ診断推進基盤整備事業



今後、フォローアップに活用することを検討

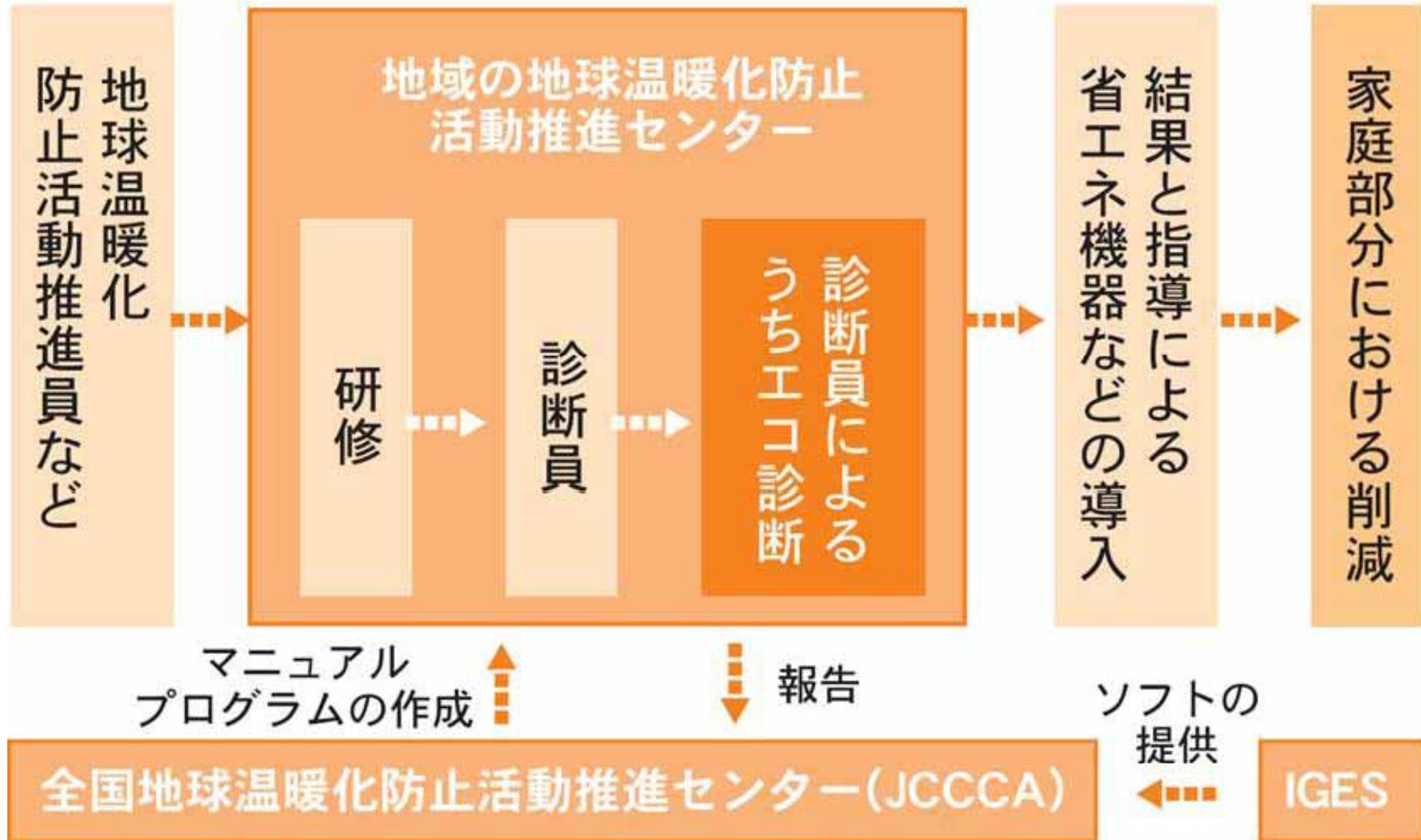
診断に活用



## 6. 平成22年度関連事業の概要と成果 1/2

### 地域で活動するNGO等支援事業：うちエコ診断・相談事業

#### 実施スキーム

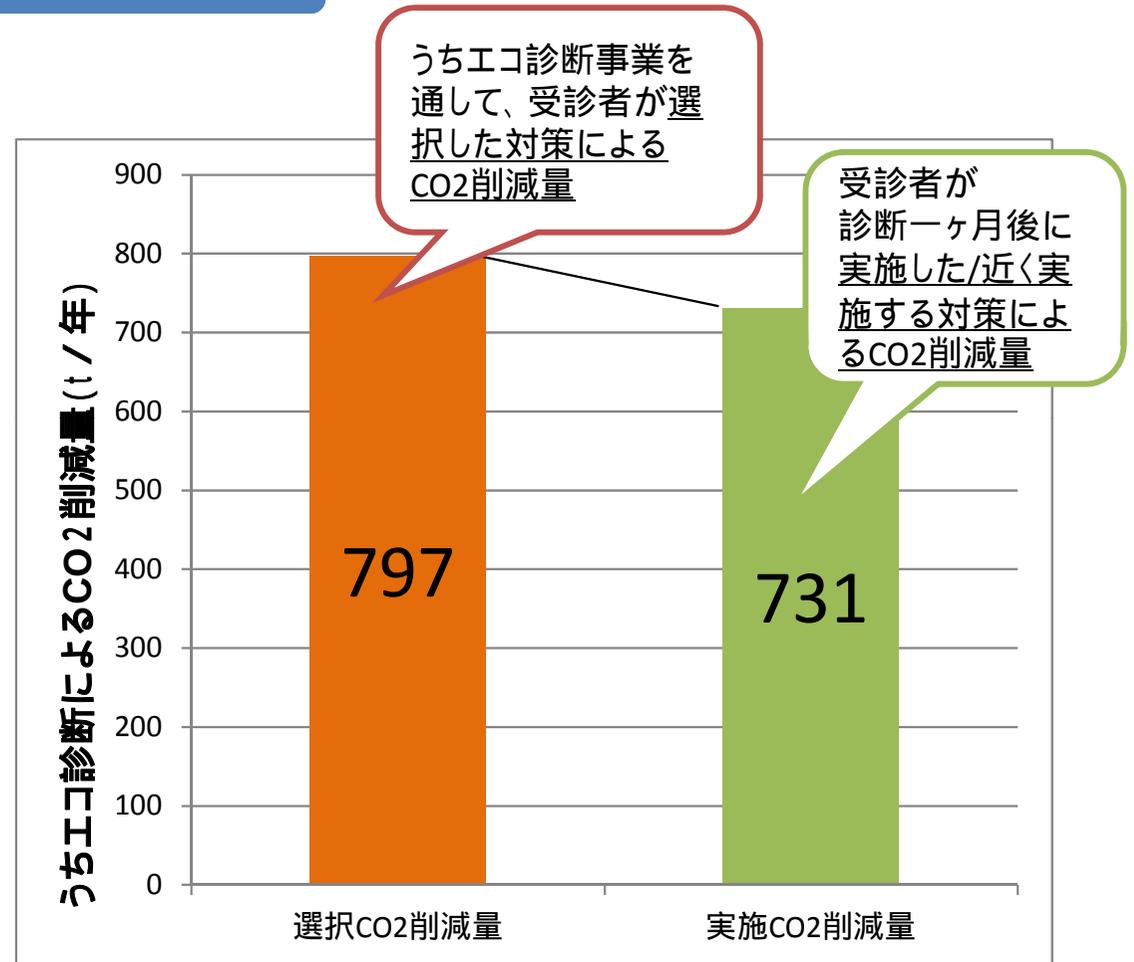


# 7. 平成22年度関連事業の概要と成果 2/2

## H22年度うちエコ診断実施状況と効果のとりまとめ

全国の地域センター  
で展開

	診断事業	アドバイス事業
実施地域センター数	22 地域センター	31 地域センター
実施数	1,746件	6,859件



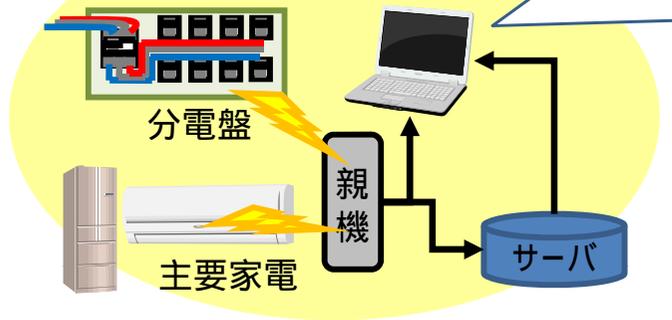
効果測定を実施した691世帯において、  
削減されたCO<sub>2</sub>削減量の合計は約731t/年

# 8. 「見える化」効果実証事業の概要と計測結果

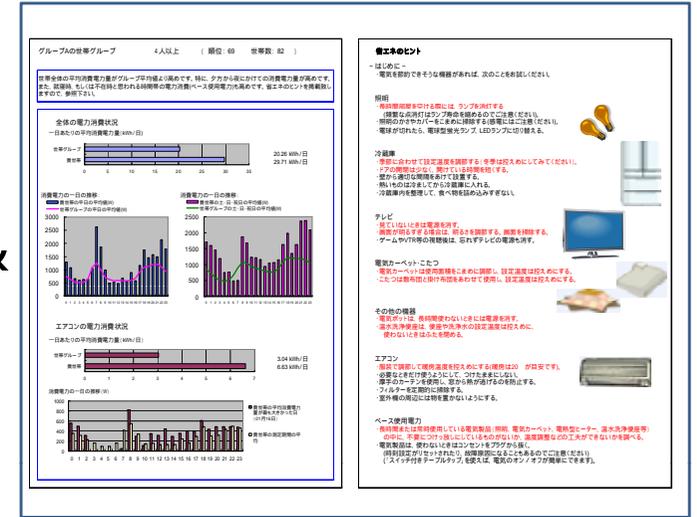
## 省エネナビ設置の実証実験

H22年11～2月

約200世帯(事業全体は約800世帯)対象

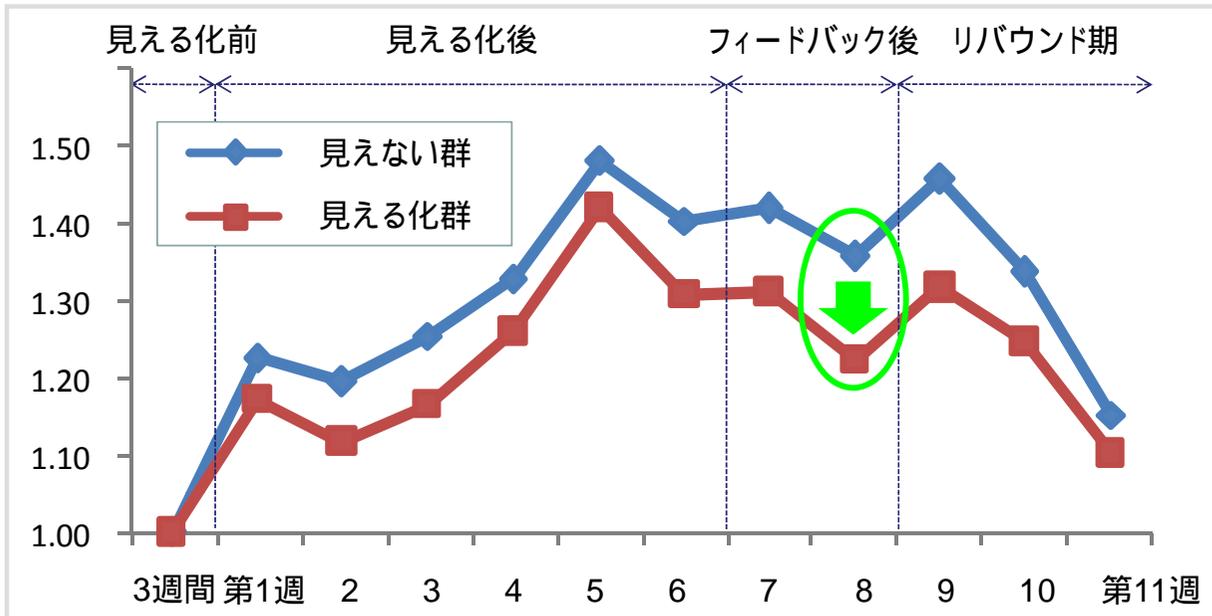


「見える化」画面



フィードバック(分析評価シート)

## 主要計測結果(世帯全体の電力消費量) 抜粋



- 「見える化」開始後、『見える化群』が常に下回っている。  
(見える化期間平均で **6.2%**)。
- 分析評価シートによるフィードバック実施後に乖離幅が最大に。  
(第8週目で **9.9%**)。
- リバウンド(見えなくする)効果の確認期間では、乖離幅が狭まる。  
(第11週で **4.3%**)

# 9. 「見える化」効果実証事業の成果

## 「見える化」の効果

- 「見える化」した方が電力消費量が少なくなる。（前頁の結果）
- 「見える化」画面へのアクセス回数が多い人の方が削減率が高い。
- クラスタ分析で分類した群によって削減率に差があり、「見える化」の効果が一律でない可能性がある。

## 得られた知見

- 「見える化」+ の工夫が重要
  - 実測値の「見える化」だけでなく、他者との比較などの分析を加えたデータに関心を持つ人が多い
  - 具体的に何をすればよいのか、行動変化に繋がりやすい形での情報提供が必要
- 「見える化」の効果をもたらすためには、家庭内で話をして共有することが必要。
- 個人の自己認識と実際の行動結果とは必ずしも一致しないため、「見える化」により現状を正しく認識し、効果的な削減対策を考えることが必要。

## 今後の課題

- 測定機器の低価格化、標準化、等を通じた「見える化」機器の普及拡大
- 電力だけでなくガスや灯油も含めた「見える化」範囲の拡大  
(環境家計簿等による「見える化」も含む)
- 個人の状況に応じたきめ細やかな情報提供  
(大規模DBの削減ポテンシャル分析等を通じた知見拡充)
- 理解の増進や気づきを促す“人によるコンサルティング”の推進

# 10. 平成22年度のCO2みえ～るツール

- 家庭での日々の生活や消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量を「見える化」するウェブツール。
- 「省エネに役立つヒント集」や省エネの工夫を共有する「コミュニティ(掲示板)」機能を用意。
- ニーズや用途に合わせて、全ての機能が備わった詳細版(パソコン版のみ)及び、簡単な情報入力のみで活用できるように機能を絞った簡易版(パソコン版及び携帯電話版の2つ)を用意。

## 詳細版画面例

【URL】

<http://mieeeru.go.jp>



トップ画面

グラフ画面



## 主要機能の概要

### 家計のみえ～る

家計簿ソフトのように、光熱水費だけでなく、食費等の光熱水費以外の支出等を入力し、家庭での生活や消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量を「見える化」します。

### くらしのみえ～る

家庭で行っているくらしの改善メニューを登録することで、CO<sub>2</sub>排出量の変化と節約金額を「見える化」します。

### 家電のみえ～る

エアコン、テレビ、冷蔵庫、蛍光灯・照明器具について、保有機器の購入年、型番等を入力することで、機器毎のCO<sub>2</sub>排出量や電気代を「見える化」します。また、最新の機器に買い換えた場合の変化も「見える化」します。

# 11. 今年度のCO2みえ～るツールの位置づけ

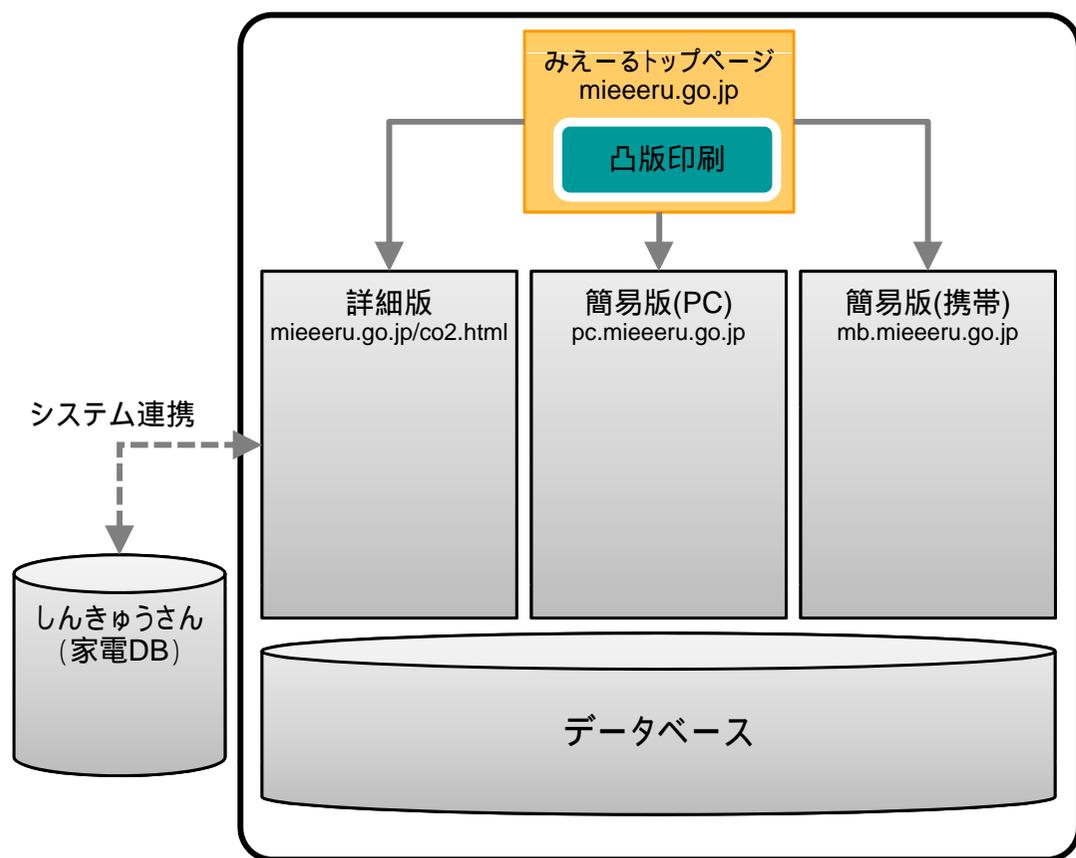
## 今年度の「CO2みえ～るツール」の位置づけ

「CO2みえ～るツール」… 本年度、団体登録機能の追加や使い勝手の改善を行い、公開を続ける。

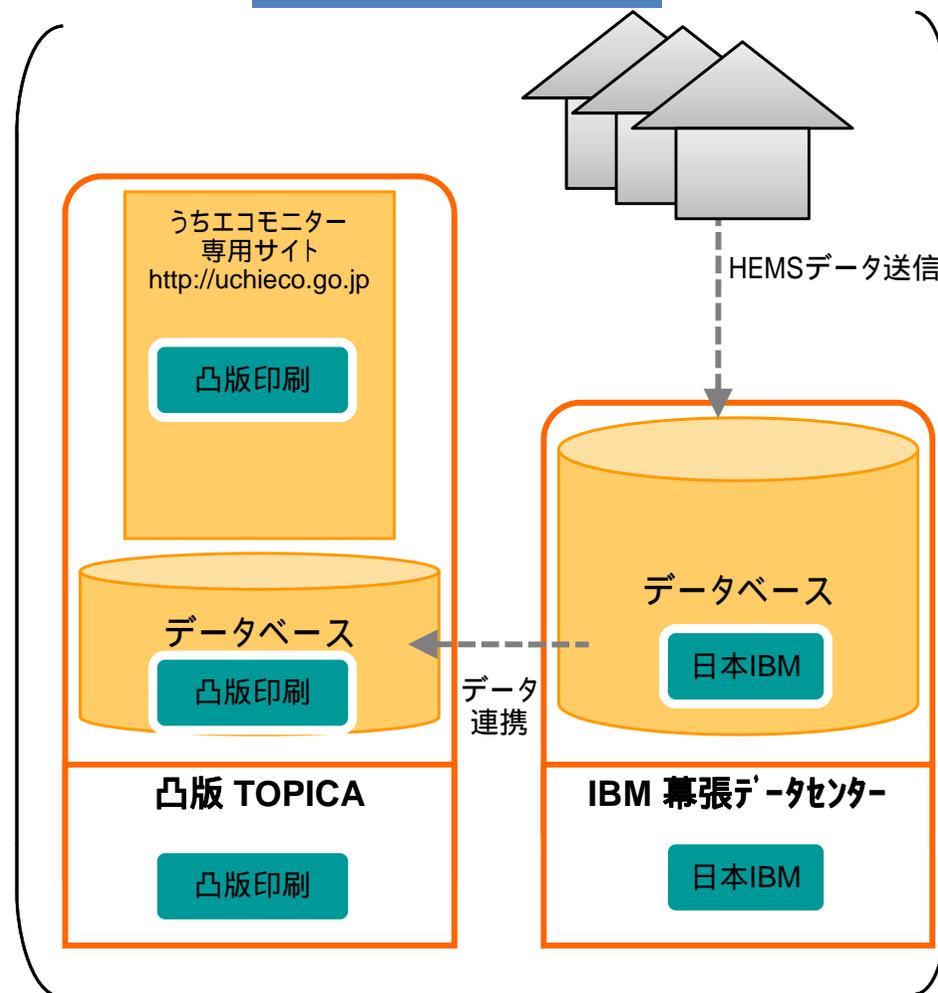
「うちエコモニター専用サイト」… 本年度、モニター家庭からの情報収集のための専用サイトを立ち上げるが、CO2算出式は、「CO2みえ～るツール」の一部の機能を準用。

次年度以降の2つのツール運営のあり方を、専用サイトの試行を通して検討予定。

CO2みえ～るツール



うちエコモニター専用サイト



# 12. 家庭エコ診断推進基盤整備事業の全体構成

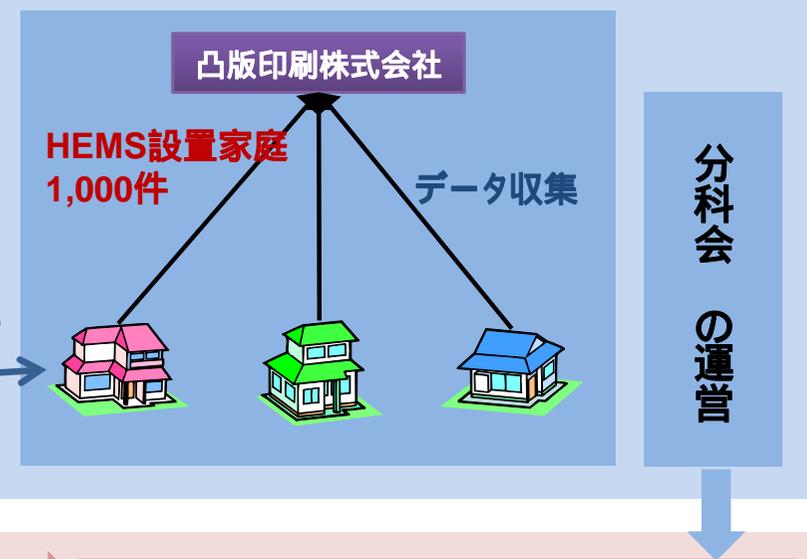
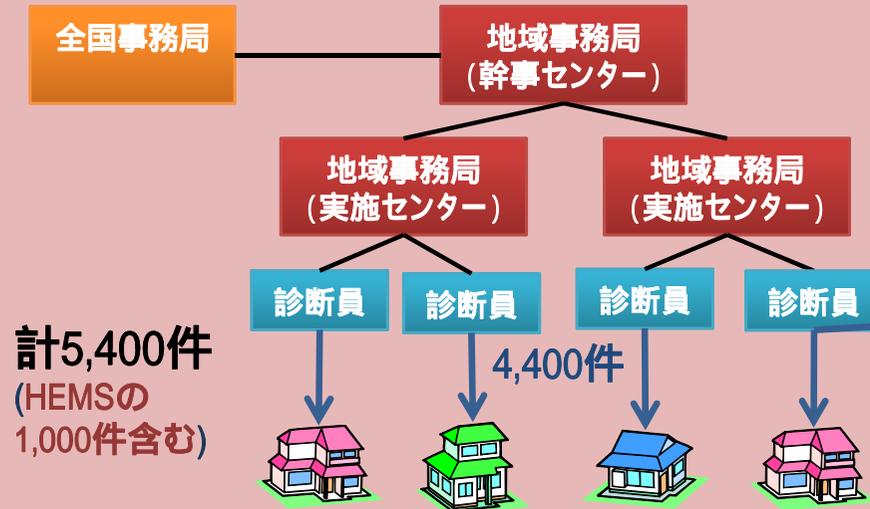
環境省地球環境局温暖化対策課

関連する業務のみ記載

H23年度家庭エコ診断推進基盤整備事業委託業務

H23年度家庭エコ診断効果検証  
実測調査事業委託業務

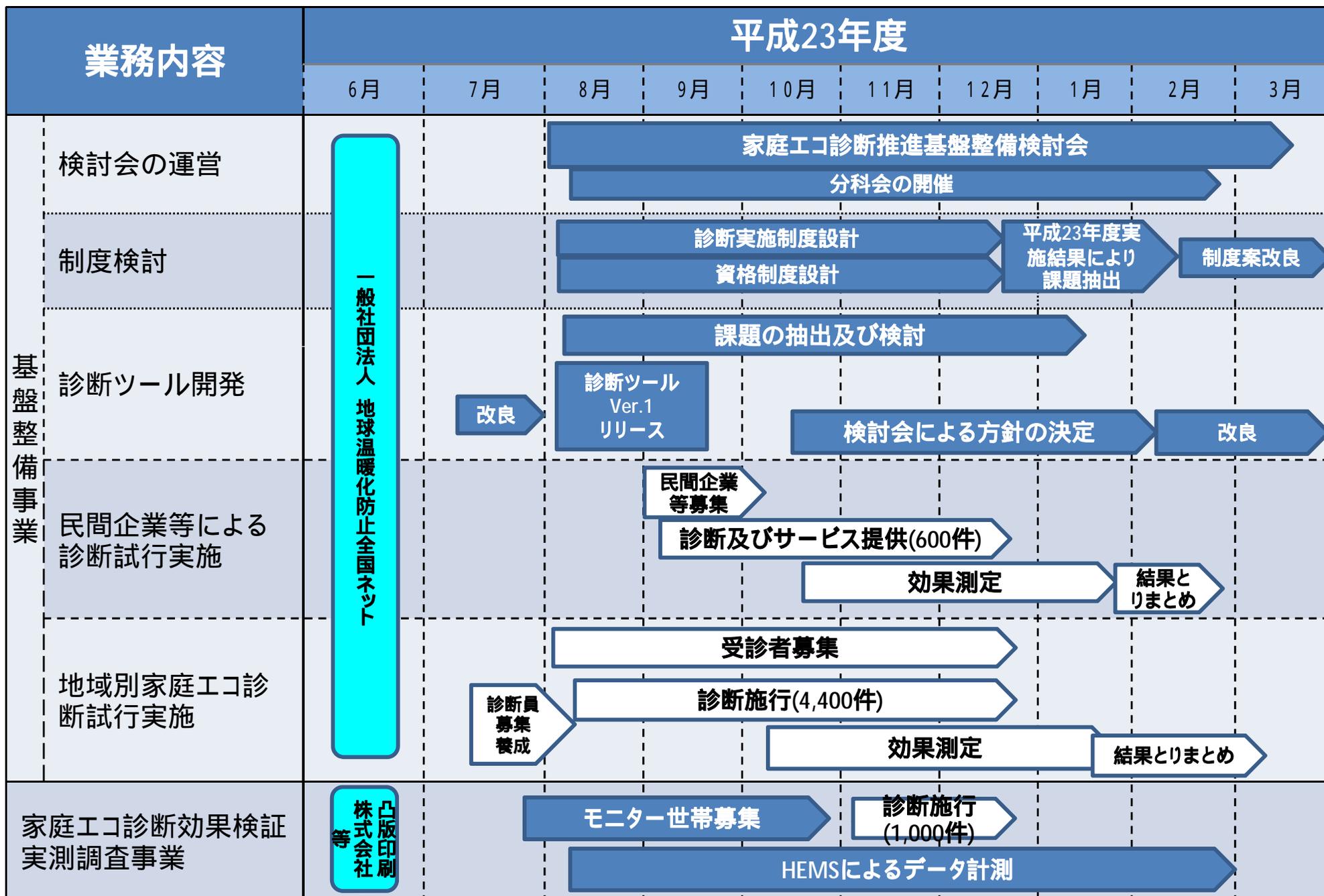
## (1) 地域別診断試行



## (2) 民間企業等による診断試行



# 13. 本事業の全体実施スケジュール



# 14. うちエコ診断に係る事業の名称について

予算事業名	家庭エコ診断推進基盤整備事業	
執行事業名	家庭エコ診断推進基盤整備事業	家庭エコ診断効果検証 実測調査事業
事業名 (通称名)	うちエコ診断事業	うちエコ診断検証事業
実施する診断	うちエコ診断	
診断員	うちエコ診断員	
ソフト	うちエコ診断ソフト	
受診家庭	(受診家庭)	うちエコモニター

次年度以降は、名称が変更になる可能性もあります。

最終的に、制度構築を目指す「環境コンシェルジュ」はうちエコ診断をはじめ、家庭におけるゼロエミッション化を進めるためのワンストップサービスを提供するものと想定。